

湯山っ子 家庭学習の手引き（中学生版）

令和8年5月

松山市立湯山中学校

中学校では、「確かな学力を育てる」ことを重点目標の一つとし、松山市の授業モデルの活用やTT（チーム・ティーチング）による指導を通した、「わかる授業」を展開し、子どもたち一人一人に学習内容が定着することを目指しています。そして、その学びを自分の力として定着させるために大切なのが家庭学習です。学校と家庭が力を合わせることで、学習の効果はさらに高まります。この手引きを参考にしながら、**「自分で学ぶ力」**を少しずつ身に付け、生徒の学習活動が一層充実するよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

《家庭学習を習慣とするために》

☆ 規則正しい生活で学力アップ

- 早寝・早起き・朝ご飯、朝の排便の習慣化
- 家族であいさつを交わす
- 「テレビ」「ゲーム」「インターネット」「スマホ」等は家庭でルールを決める。
- 忘れ物をしないように学習道具をそろえる。
- 🕒 **家庭学習の時間の目安「学年+1時間」**
※一度に全部でなく、分けて取り組んでもOK!

☆ 家庭学習をうまく進める 3つのポイント

- ① **学習の計画を立てよう**
 - ・「何時から何をするか」を決めよう
 - ・家庭での「勉強の時間割」を作ると続けやすい
- ② **目標は具体的に**
 - ・「自主ノートに○ページ」
 - ・「単語10個覚える」など、やれば終わる目標にしよう。
- ③ **集中できる環境を整えよう**
 - ・机の上はスッキリ
 - ・テレビ・音楽・ゲーム・スマホは、気にならない場所へ
 - ★ 集中できる環境は、やる気を助けてくれます。

＜各教科の家庭学習＞

教科	予 習	復 習	教科	予 習	復 習
国語	① 教科書の文章を読み、あらましをつかむ。 ② ワークの漢字、言葉の意味のページをする。 ③ 漢字テスト等の勉強を行う。(1ページ以上) ※ 普段から新聞・本など、身近にあるもので、「読む」習慣を付けておくことが大切。	① 間違えた漢字の復習を行う。 ② 授業ノートを見てその日に習った内容を復習する。 ③ 文法や表現技法などを復習する。 ④ ワークを解く。 	理科	理科の学習は「なぜ?」「どうして?」から始まります。 ① 身の回りの自然や現象に目を向けてみよう。 ② 「不思議だな」「どうなっているんだろう」と思ったことを、本・インターネット・図鑑などで少し調べてみよう。 ③ 教科書の見出しや写真・図を見て、「どんなことを学ぶのか」をつかんでおくと、授業が分かりやすくなる。	① その日の学習内容をふり返ろう。 ・教科書とノートを見返し、「今日の内容は理解できたか」をチェックしよう。 ・教科書の太字の言葉（重要語句）を中心に、新しく出てきた言葉の意味を説明できるようにしよう。 ② 実験・観察のポイントを確認しよう。 ・実験の手順や、注意することを思い出そう。 ・器具の名前や正しい使い方を確認しよう。 ・「なぜこの操作が必要だったのか」を考えると理解が深まる。 ③ 計算・公式は練習して身に付けよう。 ・公式が出てきたら、覚えるだけで終わらせない。 ・ワークや問題集で、実際に問題を解いてみる。 ・間違えた問題は、なぜ間違えたのかを確認し、もう一度やり直す
	① 事前に教科書を読み疑問や深く知りたいことを把握する。 	地理的分野 ① 地名、地勢に関する用語を覚える。 ② 略地図を書き、場所を覚える。 ③ 用語の意味を理解する。 ④ 地域の特色をつかむ。 歴史的分野 ① 時代の流れをつかむ。 ② 時代ごとの特色（政治のしくみ、文化の特徴）をまとめる。 ③ 用語の意味を理解する。 公民的分野 ① 用語の意味を理解する。 ② 図表で表されているものを自分で説明できるようにする。 ④ 新聞やニュースを見る。		① 新出単語や本文を事前に確認して、授業に臨む。 ② デジタル教科書で本文を聞いて、どのような内容かおおまかにつかむ。	① デジタル教科書で本文などの音読や暗唱をする。 ② 習った英単語や基本文を繰り返し練習し、意味が分かり、正確に書けるようにする。(声に出しながら書く) ③ ワークなどの問題を解き、ポイントを確認し、再度解く。(声に出しながら解く)
社会			英語	① 授業で使ったプレゼン資料やデジタルワークシートを復習する。 ② 学習した曲の作詞者や作曲家、歌詞等を覚え、音楽に親しむ。 ③ 速度や拍子、強弱記号等の音楽記号を確認する。 ④ 音楽活動を楽しみながら、主体的に音楽に関わろうとする気持ちで取り組む。	
			音楽	① 風景やテレビのコマーシャルなど、普段から美しいもののおもしろいデザインなどを意識して見る。 ② 用具や資料の準備は、前日では間に合わないことが多いので、2~3日前には用意しておく。 ③ アイデア・スケッチなどの時間を要する学習内容は、あらかじめ家庭で考え、円滑に作業が進むようにしておく。 ④ 標準美術やプリントを中心に制作過程を復習する。	
数学	① 教科書を読み、難しい用語がある場合、チェックし、その意味を考える。また、授業で質問できるよう準備する。 	① 復習を中心に取り組む。 ノートや教科書を見ながら、授業でやった問題をもう一度やってみる。やり方が分かっていたら、参考書や問題集などの問題を解く。 ② 間違えたときは、赤ペンでチェックを入れ、なぜ間違えたか、考える。 ③ 問題数は1問でも数問でもよいので、1日10分、短時間でも頭を使う。 ④ 自主学習ノートに問題を解く。	美術	① 保健の教科書の重要語句やその意味を確実に覚える。 ② 保健体育ノートを丁寧にまとめ、要点を理解する。 ③ 実技の本の図や解説を正確に読み取り、基本動作を知識としても理解できるようにする。 ④ 各競技のルールを理解する。	
			保健	① 授業中に黒板にまとめられたことや技家ノートを使って学習したことのうち、自分なりに考えて特に大切だと思うことを、もう一度ノートに書いて確認する。 ② 教科書などの図や写真をよく見て、その形や重要な部分の名前などをしっかり覚える。 ③ 授業中に行った作業や実習をよく思い出しながら、成功したことや失敗したことの原因をまとめたり、もう一度作業を行ってみたりする。	技家
全教科	eライブラリ（家庭学習サービス）や学習用タブレットを積極的に活用し、各教科で自分に合った方法で学習を継続させよう。				